

行政改革プラン（案）に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1 意見募集の概要

(1) 意見の募集期間 令和7年12月20日（土）～令和8年1月19日（月）

(2) 提出者数・意見数 1人・5件

(3) 意見の分類と市の対応状況

対応区分		件数
A	意見を反映し、原案を修正したもの	0件
B	意見の趣旨・考え方が既に原案に盛り込まれているもの	1件
C	意見を反映しないで、原案どおりとしたもの	1件
D	その他の意見、今後の市政の参考とするもの等	3件

2 意見の概要と市の考え方

整理番号	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
1	<p>窓口DXの地域格差是正（行政センター等への展開）</p> <p>かんたん窓口システム等の取り組みは、市民の手続負担を減らす有効策です。一方で、利用可能拠点が限定される場合、地域により利便性の差が固定化されます。高齢化が進む地域ほど移動制約が大きいいため、行政センター等を含めた展開計画（年度別ロードマップ）を明記し、早期に是正してください。</p> <p>【提案】 行政センター等への導入時期を計画本文に明記（例：令和9年度までに全拠点へ段階導入）。 対象手続の拡大（現状対象外の手続も、BPRとセットで拡充）。 オンライン手続と窓口支援（デジタル弱者支援）をセットで設計。</p>	C	<p>行政改革プラン（案）には、取組の方向性や基本的な考え方を記載しており、取組の詳細な内容については、計画本文には明記せず、事業を進める中で柔軟に対応していくこととしています。</p> <p>窓口業務の改善につきましては、まずは本庁における取組を中心に進め、そこで得られた知見や課題を踏まえながら今後の展開について検討していく予定です。</p> <p>いただいたご意見については、今後の検討にあたり参考とさせていただきます。</p>
2	<p>自治会運営支援アプリの導入は「伴走型支援」とセットで</p> <p>自治会は防災・見守り・地域の連絡網として重要ですが、役員のなり手不足と運営負担が深刻です。回覧、安否確認、集金などをデジタル化できれば負担は減りますが、導入初期は“使える人だけ便利”になりがちです。市が費用負担・研修・相談窓口を含む伴走支援を行い、紙運用との併用も含め、移行期の現実に寄り添った設計を求めます。</p> <p>【提案】 アプリ導入支援の対象（自治連絡協議会～単位自治会）と支援メニュー（説明会、マニュアル、ヘルプデスク）を明文化。 スマホ未所持者・操作困難者への代替手段（紙回覧併用、代理登録等）を制度として位置付け。 防災（安否確認）や見守りと連動する運用ルールを、市と自治会で共同作成。</p>	D	<p>自治会運営支援アプリの導入につきましては、第7次行政改革にて取組を進めているところです。</p> <p>今回意見を募集している行政改革プランの推進項目（案）には含まれていない取組となりますが、DX化を推進するにあたり、いただいたご意見を担当部署に共有し、参考とさせていただきます。</p>

整理番号	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
3	<p>専門職確保と技術継承（“人が減る未来”を前提に）</p> <p>将来の年齢構成変化は、現場力の低下リスクを示しています。専門職（土木・建築・保健等）の採用難が続く中、定型業務はAI・RPA等で減らし、職員は企画・対話・現場調整へ再配置する、という設計を明確にしてください。</p> <p>また、退職期の前に、暗黙知の見える化（手順書・ナレッジ基盤）とOJTの仕組みをKPIで管理すべきです。</p> <p>【提案】 専門職採用の広報・処遇・キャリアパスの見直し（民間比較を踏まえた改善）。 業務の棚卸し→自動化→再配置のサイクルを毎年度回す（部局別に優先順位付け）。 技術継承（マニュアル整備、引継ぎ完了率、OJT実施率）の定量管理。</p>	D	<p>専門職確保と技術継承、職員配置については、今回意見を募集している行政改革プランの推進項目（案）には含まれていない取組となりますが、いただいたご意見は担当部署に共有し、人材育成・確保を進める際の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>市民提案（機構案等）の扱いを「見える化」し、反映の回路を制度化</p> <p>行政改革は“役所の都合の最適化”になりやすいため、市民・現場からの提案（機構案、窓口配置、業務改善案など）がどう扱われたかを明確にすることが信頼の土台です。提案を受けた際に、採否だけでなく、検討プロセス・理由・次のアクションを公開する「提案トラッキング」を制度化してください。</p> <p>【提案】 市民提案の受付→検討→対応状況を一覧化（提案ID、担当課、ステータス、期限、結果）。 重要提案は行政改革推進委員会で審議し、結果を公表（透明性）。 『随時改善』を可能にするため、計画期間中の中間改定ルール（年1回など）を明記。</p>	D	<p>市民の皆さまからのご意見やご提案については、パブリックコメントや市民の声などの制度を通じて受け付け、行政運営の参考とさせていただきます。</p> <p>また、行政改革の取組については毎年度行政改革推進委員会へ進捗等を報告しております。</p> <p>今回ご提案いただきました市民提案については、今回意見を募集している行政改革プラン（案）には含まれていない取組となりますが、今後の行政改革の実施や取組を検討する上での参考とさせていただきます。</p>
5	<p>KPI（成果指標）提案：進捗を“測れる改革”に</p> <p>行政改革は、やった感ではなく“効いたか”が重要です。市民が実感でき、自治会現場でも確認できるKPIを設定し、毎年度公表してください。</p>	B	<p>行政改革の進捗状況は、毎年度、市のホームページにて公表する予定としております。</p> <p>取組ごとに指標を設定し、市民の皆さまへ進捗等をわかりやすくお示しできるよう努めてまいります。</p>